令和８年度 第２回 丹波篠山市社会教育委員会議・公民館運営審議会

次第

日　時　　令和８年９月２８日（月）
１９時００分～
場　所　　四季の森生涯学習センター
東館１階　大会議室

１　開　会

２　報告事項
(1)　令和８年度 主な社会教育・公民館関係事業の進捗状況について

３　協議事項（テーマ研究）
テーマ　　未来へつなぐ「子どもの居場所づくり」のあり方

４　連絡事項
(1)　社会教育委員

期日	事業名	場所
10 月 28 日(水) ～30 日(金)	第 68 回全国社会教育研究大会大阪大会 令和 8 年度近畿地区社会教育研究大会	国際障害者交流センターほか
11 月	丹波地区社会教育委員協議会第 2 回役員会	丹波市
11 月 25 日(水)	兵庫県社会教育研究大会	神戸市教育会館
1～2 月	丹波地区社会教育委員協議会第 2 回研修会	未定

(2)　公民館運営審議会委員

期日	事業名	場所
11 月 18 日(水)	第 48 回全国公民館研究集会和歌山大会 第 73 回近畿公民館大会和歌山大会	和歌山城ホール
1 月 29 日(金)	兵庫県公民館大会	いなみの学園

(3)　その他

５　閉　会

令和８年度丹波篠山市社会教育委員・公民館運営審議会委員名簿

No.	区分	氏　　名	所属等
1	学校教育関係	安井　健二	小学校長会より選出
2	社会教育関係	足立　弘美	元公民館社会教育指導員
3		上田　忠	丹波篠山市自治会長会より選出
4		福西　寿美子	福祉行政経験者　手話通訳者
5		山下　好子	大芋活性化委員会　委員
6		谷掛　昭二	社会教育経験者
7		蔦木　伸一郎	公募委員
8		村上　佳子	公募委員
9	家庭教育の向上に資する活動を行う者	山本　歩美	岡野子ども教室コーディネーター
10		瀬戸　大喜	丹波篠山春日神社 神主
11	学識経験者	橋元　　工	一般社団法人襷農園　代表理事

事務局	辻川　貴志	社会教育部　社会教育課　課長 （中央公民館長兼務）
	岡花　宏明	社会教育部　社会教育課　課長補佐
	藤原　裕大	社会教育部　社会教育課　社会教育係　係長
	山本　圭太	社会教育部　社会教育課　公民館係　係長
	尾崎　帆乃花	社会教育部　社会教育課　主事

報告事項

令和８年度　主な社会教育・公民館関係事業の進捗状況について

1	**丹波篠山市芸術文化の祭典**		文化・芸術の振興	
	本年度の展開	「丹波篠山市展」と「丹波篠山市民文化祭」を発展的に統合し、「丹波篠山市芸術文化の祭典」として開催する。	主な課題	・市民の関わり ・効率的な事業実施
	開催日	作品展示：令和8年11月17日(火)～22日(日) 芸能発表：令和8年11月23日(月)	成果指標	・出品点数 ・来場者数
	会場	作品展示：丹波篠山市民センター 芸能発表：田園交響ホール		

2	**丹波篠山ＡＢＣマラソン**		スポーツの推進	
	本年度の展開	コロナ禍による困難を経て、大会の魅力・ブランディングについて一層の再構築を推進するとともに、適切な運営体制を整える。	主な課題	・大会の差別化 （参加動機づけ） ・運営経費高騰への対応 ・運営体制（人員）の確保
	開催日	令和9年3月7日(日)	成果指標	・参加者数 ・ボランティア数
	会場	篠山城跡マラソンコース		

3	**桶ット卓球世界大会**		主体的に生きるための学びと場の充実	
	本年度の展開	本市発祥の桶ット卓球を通じて市内外の交流や健康づくりを推進するため、前年度に引き続き世界大会を開催する。	主な課題	・競技普及 ・持続可能な実施体制構築
	開催日	令和9年2月23日(火)	成果指標	・参加者数
	会場	四季の森生涯学習センター多目的ホール		

4	**丹波篠山公民館まつり**		主体的に生きるための学びと場の充実	
	本年度の展開	生涯学習の拠点である公民館において、多様な市民活動の紹介や体験機会を創出し、市民活動の活性化を図る。	主な課題	・他の催しとの差別化 ・今後の実施時期、実施頻度
	開催日	令和9年3月14日(日)	成果指標	・参加団体数 ・来場者数
	会場	四季の森生涯学習センター多目的ホール		

協議事項（テーマ研究）

テーマ　　『未来へつなぐ「子どもの居場所づくり」のあり方』

１　討議のねらい

社会や地域コミュニティの変化が進む中、子どもたちが学校や家庭とは異なる場で安心・安全に過ごし、多様な人と出会う「子どもの居場所」の重要性が増しています。丹波篠山市でも、放課後こども教室やトライしようDAY、通学合宿、各種青少年健全育成活動など、多くの実践が大切に積み重ねられてきました。

社会教育の視点から目指すべきあり方を共有しながら、これまでの温かい歩みをさらに未来へつなぐための意見交換を行います。

社会教育の視点「学びの循環」

体験	講座、イベント、地域課題との出会い、対話の場
気づき	自分の身の周りの課題を認識し、「自分ごと化」する瞬間
共有	気づきを他者と共有し、理解や価値観を深める
行動	気づきや理解をふまえた実践
評価・改善	行動の成果を評価し、次の学びへ循環させる

２　いま、「子どもの居場所」が必要な社会的背景

【子ども】

学校、習い事、団体活動など、現代の子どもたちは常に何らかのスケジュールや成果、評価の中に置かれがちです。

また、少子化や安全面への配慮、ルールの厳格化などにより、子どもたちが身近な自由空間で気軽に集まり、群れて過ごすことが難しくなっています。子どもたちが自ら遊びを創り出したり、自ら選んで試行錯誤したり、ただ安心してゆったり過ごしたりするような機会や場所、異年齢で自由に交わる体験が少なくなっています。

【家庭】

かつては、核家族であっても地域や親族に頼る余地がありましたが、子どもの見守りや生活を支えていた祖父母世代が就業継続、さらには自分自身の親の介護を抱えるなど、家庭内で余裕を持ちにくい状況があります。

また、共働き世帯やひとり親家庭が増える中で、子育てにおいて心理的孤立を感じ

る保護者もいます。放課後や休日、長期休みに子どもが過ごす安全で安心な居場所の確保が課題であるとともに、子どもを支える大人自身も、孤立せず、学びやつながりを楽しめる環境をつくる必要があります。

【地域】

地域住民にとって子どもたちの遊び場や生活圏が自然に見守ることのできる場でなくなってきており、子どもたちが地域の多様な大人と関わる機会が乏しくなっています。近所付き合いや地域のつながりが薄れ、子どもの体験活動や地域行事の運営が、限られた熱心な人たちのボランティア精神や善意に頼り切った状態になっている場合もあり、持続可能性が揺らいでいます。

また、集落や地区だけで活動を維持することが難しくなり、活動の単位が市域全体や市外との連携へと広がっています。従来の集落や地区単位の地域コミュニティが、広域化した活動単位と一致しなくなってきています。

３　「子どもの居場所づくり」に関する本市の社会教育事業（令和７年度）

【放課後こども教室】

子どもたちが地域社会の中で健やかに育まれる環境づくりを推進するため、放課後の小学校などの施設等を利用し、地域住民の参画を得て、遊びやスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動を実施。

（令和７年度の実施状況）　事業費　1,481,094 円（謝金、消耗品費、役務費等）

地域	日時	場所	人数	活動内容
篠山	月曜 14:20～16:00	篠山小学校	48 人	昔遊び、工作、囲碁ボール等
岡野	金曜 14:00～14:40	岡野小学校	22 人	読み聞かせ、紙芝居、太鼓、スポーツ等
城東	火水金曜 14:30～15:30	城東小学校	22 人	宿題、グラウンドでの自由遊び等
多紀	火水木金曜 14:30～15:30	多紀小学校	26 人	宿題、グラウンドでの自由遊び等
西紀	月曜 15:00～16:00	西紀小学校	28 人	スポーツ、折り紙、自由遊び等
味間	金曜 15:00～18:00	住吉台 ｺﾐｭﾆﾃｨｾﾝﾀｰ	15 人	国語、算数、農業体験、買い物体験等

岡野放課後こども教室
岡野太鼓体験（岡野小学校）



【トライしよう DAY】

地域で実施される行事、奉仕活動、体験活動、交流活動に対して、地域の協力のもと小学生が主体的に参加することにより、自ら学ぶ心、自他の生命や故郷を大切にする心等の豊かな人間性や社会性を育む。

（令和 7 年度の実施状況）

地域	実施主体	内容	支援額
篠山	篠山小 4 年	親子調理実習	30,000 円
八上	八上小 6 年	夏休み親子活動	12,093 円
城東	城東小 PTA 育成部 6 年	デイキャンプ	30,000 円
多紀	多紀小 PTA	縁日イベント	30,000 円
西紀南	西紀南小育成会	サマーキャンプ	30,000 円
味間	味間小 PTA	卒業記念事業	30,000 円



←多紀っ子縁日
（ハートピアセンター）



古市通学合宿→

【通学合宿】

少子化や核家族化が進んでいる状況の中で、接する機会が少なくなりがちな異年齢の子ども同士が共に過ごす時間を意図的に設け、人間関係を学ぶ場とするとともに、地域の方と子どもたちがふれ合う活動が契機となって、地域で子どもを育成しようとする機運をいっそう高めることを目的とする。

（令和 7 年度の実施状況）

地域	実施主体	実施場所	支援額
多紀	多紀小学校卒業記念通学合宿	泊まれる学校おくも村	50,000 円
大芋	大芋通学合宿実行委員会	泊まれる学校おくも村	50,000 円
古市	古市地区まちづくり協議会	古市ｺﾐｭﾆﾃｨ消防ｾﾝﾀｰ	50,000 円
今田	今田まちづくり協議会	今田まちづくりｾﾝﾀｰ	50,000 円

【青少年協議会】

複雑多様化している青少年の環境浄化を目指し、健全育成と非行防止にあたるため、関係機関、団体並びに地域住民が連携して、地域ぐるみで青少年育成活動を推進。

（令和 7 年度の活動状況）

地域	活動内容	決算額
市全体	こどもを守る家、研修会（スマホと向き合う力を育む）	105,902 円
篠山西	学校園・PTA との連携活動	78,646 円
篠山東	学校園・PTA との連携活動	64,019 円
西紀	地域イベントでの出店、学校園・PTA との連携活動	153,115 円
丹南	映画上映会（夢みる校長先生）	91,516 円
今田	地域イベントでの見守り活動、通学合宿	80,020 円

※決算額は自己資金（事業収入等）を含む

【子ども会連絡協議会事業】

市内の子ども会相互の連絡調整、子ども会活動の推進等を実施。

（令和 7 年度の活動状況）

事業	参加者	補助額
オセロ大会	28 人	32,009 円

【青少年健全育成活動団体認可】

主に青少年健全育成を目的として活動する団体を、登録団体として認可し、公の施設使用料（丹波篠山総合スポーツセンター等一部施設を除く）を減免することで、団体活動を支援。

（令和 7 年度の認可団体数：スポーツ活動、芸術文化活動 38 団体）

【丹波ささやまおもしろゼミナール】

自然体験活動、異年齢での集団活動を通じた豊かな実体験の機会として実施。

（令和７年度の実施状況）

事業	参加者	参加費	事業費
こどもデイキャンプ	30 人	1,000 円／人	74,798 円



← こどもデイキャンプ
（丹波篠山渓谷の森公園）



↑ かぞく de おいしんぼクッキング
（四季の森生涯学習センター）

【かぞく de おいしんぼクッキング】

家族での料理実習を通じて、食や食に関わる取り組みへの理解を深めるため実施。

（令和７年度の実施状況）

事業	参加者	参加費	事業費
学校給食編（2 回）	117 人	700 円／人	285,951 円
スイーツ編	40 人	1,000 円／人	
カフェ編	40 人	1,000 円／人	
匠編	37 人	1,000 円／人	

４　討議・意見交換

それぞれの委員のこれまでの実践や経験などをふまえ、横断的・総合的な視点で討議、意見交換を行います。

視点（例）

・いま、求められる「子どもの居場所」とは、本当はどんな場所だろう
・体験活動を、どのように地域の日常につなげるか
・大人が担い手として育ち合う、社会教育の視点（間接的アプローチ）
・青少年健全育成団体のこれからの姿
・広がる子どもの活動に、どう対応していくか

５　まとめ（施策の推進に向けて）